

災害(豪雪)対策本部

記録的な大雪に見舞われた今冬、2月19日までの降雪量は535mmとなりまし  
た。また、1月初めには1mを超える積  
雪深を記録しましたが、2月に入ってから  
は、比較的穏やかな日が多かったこと  
から、19日現在の積雪深は59cmとなっ  
ています。

市では、1月5日に災害(豪雪)対策  
本部を設置、以来、数多くの相談や苦情  
除雪要請などが寄せられました。これら  
の大部分は、高齢者宅の生活路の確保や  
空き家の屋根からの落雪に関するもので、  
これまで休日を中心に延べ300人以上  
の職員が対応しています。

また、各町内会における自主的な除排  
雪や消防団員の動員も相当な件数となり、  
地域を挙げて取り組んでいただきました  
ことに、心から感謝申し上げます。

2月19日現在、大館市消防署で把握し  
ている本市における雪害は、屋根の雪下  
ろし中の事故による死者1人、負傷者20  
人、農業施設を除く建物の倒壊が、部分  
壊を含めて63件となっています。

市の施設では、松峰児童館の屋根陥没  
や比内中学校駐輪場の倒壊など27件の被  
害が発生しています。

また、市の管理施設で、雪塊が落下し  
て乗用車を破損させる事故などが発生し  
その補償は専決処分に対応し、本定例会  
に報告させていただいています。

2月も下旬に入り、降雪や寒波は峠を  
越えたものと思われませんが、今後も、市

民の皆さんの安全確保のため、警戒を繼  
続していきます。

除雪対策本部

近年にない豪雪のため、終日の除雪作  
業も追い付かず、市民の皆さんには、大  
変なご迷惑をお掛けしました。

除雪対策本部では、この異常事態を乗  
り切るため、緊急出動態勢を整えるとも  
に、道路パトロールの強化や各町内の  
状況の把握に努めながら、除排雪を実施  
しています。

例年「アメッコ市」に合わせて実施し  
ていた排雪作業は12月下旬から開始し、  
バス路線や幹線道路、生活道路の幅員と  
通学路の確保に努めました。

このため、除雪経費は、除排雪委託料  
の執行済額が1月31日現在で3億6、8  
00万円となり、昨年同期に比べ2億3、  
000万円上回っています。こうしたこ  
とから、除雪費に対する財政支援を国に  
要望し、先般、除雪事業費補助の内示を  
受けたところです。なお、今後の降雪に  
伴う除雪経費の不足が見込まれますが、  
市民生活に密着していることから、柔軟  
に対応していきたいと考えています。

今後は、各町内の堆雪場の排雪作業を  
順次実施するとともに、ライフラインや  
通学路の点検整備も継続し、市民の皆さ  
んにご不便をお掛けしないよう、万全を  
期したいと考えています。

農業関係被害

農業関係での主だった被害としては、

農業で、パイプハウスやガラスハウス、  
農業小舎の倒壊や部分壊が86棟発生し、  
農業関係施設に約5、250万円、損壊  
したハウスで栽培していた農作物に約1  
50万円の被害が発生しています。  
果樹では、積雪のため部分的な調査に  
とどまっていますが、ナシやリンゴの5  
割以上に枝折れ等の被害があり、被害面  
積は約43ha、減収額は約4、800万円  
と推定されます。

林業でも、昨年12月末時点で既に多く  
の倒木や枝折れ被害が報告されていて、  
その後の降雪のため被害がさらに拡大し  
ているものと思われます。

農業被害への、地方6団体が支援策  
や各種融資制度の拡充を国に要請し、ま  
た、市とあきた北農業協同組合が、県に  
被害農家救済の支援策を要望しています。  
現在、いまだ積雪量が多く詳細な調査  
が出来ない状況ですので、雪解けを待ち  
出来るだけ早い時期に正確な被害状況を  
把握したいと考えています。

そのほかの報告

- ・ 第3次行財政改革大綱の改定
- ・ 山田地区移動通信鉄塔施設整備事業  
の工期延長
- ・ 障害者自立支援法施行に伴う取り組み  
第22回「比内とりの市」の開催
- ・ 平成18年大館アメッコ市の開催
- ・ 農業農村整備事業の状況
- ・ 林業振興事業の状況
- ・ 有浦東台線工事の進展状況
- ・ 都市計画事業の進展状況
- ・ 高館公園テニスコート、樹海体育館の  
利用状況

コンポストセンターの汚水漏出事故

2月4日に、コンポストセンターで、  
生ゴミなどから出る汚水が漏出する事故  
が発生しました。これは、2槽の脱臭棟  
脱臭素槽のうち、1槽の配管が雪の重み  
で破損し、再利用のため貯蔵していた汚  
水約20トンが漏出したものです。翌5日  
に破損箇所を改修し、もう1槽の汚水は  
産業廃棄物として処理しましたが、漏出  
した汚水は敷地内の土壌に浸透したもの  
と推測されます。関係機関の調査では、  
漏出による環境への影響はほとんど無い  
ということですが、今後も当分の間、環  
境への影響調査を継続していきます。

前回の事故を踏まえ、機器の管理や点  
検、安全運転に努めてきましたが、度重  
なる事故で、議会や市民の皆さん、関係  
機関には、大変なご心配とご迷惑をお掛  
けし、深くおわび申し上げます。今後、  
さらに運営方法や施設の改善などについ  
て検討を加えたいと考えています。

- ・ 水道施設の整備状況
- ・ 公共下水道の整備状況
- ・ 市立総合病院増改築事業の進展状況
- ・ 都市計画マスタープラン
- ・ 第10回忠犬八子公のふるさと・秋田大  
館フェアの開催



浜谷八子公広場で行われ  
た秋田大館フェア(2/16)  
八子公像の前で本物の秋  
田犬と触れ合う様子